

# 第28回八都県市合同防災訓練<埼玉会場:加須市> 「もしも」の時を想定し訓練に参加

埼玉県東部を震源域とする震度6強の直下型地震を想定した訓練が行われ、6生協・2連合会から43人が参加しました。埼玉県との「基本協定」にもとづき10回目の参加となる今回も、救援物資搬送訓練に4台の車両が参加。防災フェア会場では、被災地の生協支援活動などのパネル展示、血圧測定・体脂肪チェック、緊急物資の配布訓練を行いました。また、いざという時に役立つ「減災の手引き」「非常持ち出し品チェックリスト」の配布、防災意識を高めるための防災クイズを行い参加者には賞品をプレゼントしました。

救援物資搬送訓練に車両4台(さいたまコープ、ドックコープ、生活クラブ)が参加



さいたまコープは救援物資を約800人に配布(視察に訪れた上田県知事も配布に参加)

医療生協さいたまの血圧測定・体脂肪チェックに約150人が参加

## 「企業防災力を考える」フォーラム 防災等への取り組みに対し埼玉県から表彰されました

7/18

阪神・淡路大震災を契機に、埼玉県生協連と県とが、1995年「災害時における県民生活の安定を図るための基本協定」を締結しました。協定のもと、八都県市合同防災訓練に会員生協と共に参加するなど、その活動や取り組みに対し埼玉県より感謝状が授与されました。



埼玉県のマスコット コバトン



上田県知事より感謝状を受け取る石川会長理事

2007  
秋号  
AUTUMN No.24

# 埼玉県生協連 写真ニュース

発行：埼玉県生活協同組合連合会  
〒330-0064 さいたま市浦和区岸町7-11-5  
TEL 048-844-8971

URL: http://  
www.seikyoren-saitama.or.jp

## 第43回埼玉県消費者大会 平和で安心してらせる社会の実現に向けて

24団体で実行委員会を構成し、「平和で公正な社会を実現し、明るい未来をつくりましょう!」を大会テーマに、約800人が参加して開催されました。記念講演はピーター・フランクフル氏(数学者・大道芸人)で、日本の教育に疑問を投げかけると共に「人生で大事なものは生きていく過程であり、主人公は自分自身」と強調しました。午後からは5つの分科会に370人が参加し各テーマを深めました。



ジャグリングを披露しながら登場したピーター・フランクフル氏

9/29

## JA全農さいたま主催 平成19年度埼玉県産米交流会「体験稲刈り」 「雨の中でも元気に」家族で稲刈り体験



生産者・消費者の交流を目的に今回で9回目となる稲刈りに、生協組合員26家族104人が参加しました。会場の「体験圃場」(久喜市)は雨合羽を着た親子連れで賑わい、稲が手際よく刈り取られていきました。その後、県産米のおにぎりや「すいとん」などが振舞われ、子ども達からはバケツ稲の成長を描いた紙芝居と稲刈りの感想の発表がありました。

## 第22回埼玉県原爆死没者慰霊式 核兵器廃絶を心に誓い行動へ

7/29

日本が再び戦争することなく核兵器が二度と使われないように願い、毎年さいたま市別所沼公園内「慰霊の碑」前で開催され、今年は約170人(うち消費者団体や会員生協より30人)が参加しました。石川埼玉県生協連会長は「平和に逆行するような動きが加速しています。今後、広島県生協連の呼びかけに応え核兵器廃絶署名の検討や憲法について考える学習会を広げていきます」とあいさつしました。



来賓あいさつする石川会長理事

9/10

## 生協ネットワーク協議会第2回協議会 平成21年開始予定の「裁判員制度」について学習



さいたま地方検察庁の方を講師に、32人が参加して学習しました。「裁判員制度が開始されると、埼玉県内で毎年1~2万人が名簿に登録されます。選ばれた方は、一般市民の感覚を大切に協力して欲しい」と話されました。参加者は「学習して不安な気持ちが軽くなった」「もっと学習する機会を作ってほしい」と感想を語りました。

## さいたまコープ



### 「子ども・子育て応援キャンペーン」でさまざまな取り組みを開催

昨年秋と今年春に続き、9月17日から「秋の子ども・子育て応援キャンペーン」がスタート。新しく組合員になった子育て中のご家庭に、オリジナルの母子健康手帳やおしりふきのプレゼントをはじめ、各地で、離乳食試食会や※ベビーピクス、親子収穫体験などのイベントが行われています。

※ベビーピクスとは、お母さんが赤ちゃんに行うマッサージとエクササイズで、赤ちゃんの心と体をリラックスさせ自然な運動発達を促す運動のことです。

## 商品展示会「パルフェスタ in 大宮 2007」を開催

10月5日、大宮ソニックシティ第1展示場は、700人を超える来場者でにぎわいました。展示会は商品についての組合員の理解や交流の機会として年1回開催しています。今年は30社が参加し、パルシステムで人気の商品や、新商品の展示と試食を行いました。

### 人気キャラクター「こんせんくん」と記念撮影



## ドゥコープ

## 生活クラブ生協



### “体感 体験 ロハスな生活”をテーマに「生き生き交流会」

いろいろな消費材(商品)を試食でき、生産者と交流ができる場として、10月6日さいたまスーパーアリーナで約2,500人の参加で開催しました。スタッフとして参加した組合員100人以上は事前学習や見学会を行ったうえで、約80の提携生産者ブースを担当。クイズやスタンブラリーの他、ソーセージ作り、そば打ちなどの「体験」イベントも開催し、参加者に生活クラブのロハスを体感・体験してもらいました。

## 「牛肉」のことをもっと知ろう・食べよう!と学習会を開催

北海道の榛澤牧場、パル・ミート、ホクレンの方々をお招きし、9月4日「ふーどの牛肉学習会」を行いました。牛の品種はアンガス種・アンガス系統種で、東京ドーム30個分という広大な放牧地に100頭の母牛と200頭を超える子牛・肥育牛が放牧されています。牧草以外にも、規格外のじゃがいもやふすまなど未利用資源も活用し、環境に負荷を与えずに、健康な牛を育てるための努力や思いが生産者から語られました。



## 埼玉県勤労者生協

# みんなで元気を分けあい 暮らし豊かに

### 「元気アップ!HAN友キャンペーン」で医療生協の良さを実感!!

「班(HAN)」の活動を活発にしようという目的で、7月よりキャンペーンをすすめています。健康づくりや環境、平和、子育てなどの36のコースに、班や個人で登録し、健康づくりに役立つ資料やグッズなどを提供しています。これまで146件の班、115件の個人が登録し、「組合員で良かった」を実感してもらうキャンペーンのひろがりはまだまだ続いています。

### みんなで筋力トレーニング



## 医療生協さいたま

## さいたま住宅生協



### 第7回さいたま市消費生活展で「住まいの地盤をチェック」

10月27日さいたま新都心駅の自由通路で開催。「地盤をチェックしてみよう」のテーマで、地盤専門の業者の協力を得て出展しました。パソコンに住居表示を入力し、地盤の地層の状態や周辺の地質のデータで簡易地盤診断が行われます。台風の影響で風や雨が吹き込むという悪天候にもかかわらず、多くの通行人が足を止めて診断を受けていました。

### 家族の暖かい声援に包まれた“運動会”

10月7日秋晴れのもと運動会が行われました。走る、登る、跳ぶなどの遊びの要素を取り入れたプログラムで、園児たちのかわいらしい表情や年長組のソーラン節などの真剣さに家族の人たちは暖かい声援を送り、感激して涙ぐむ姿もありました。午後は、組合員みんなの運動会です。卒園生、おじいさん、おばあさん、お父さん、お母さんの出場する競技は、どれも大勢の参加で盛り上がりました。



## 子どものその保育生協

## 十文字学園生協



### メインは食生活相談 でも女子大らしいお肌チェックや体脂肪測定も

健康や食生活を見つめなおしてもらおうと、10月3日恒例の「秋の食生活相談会」を行いました。栄養士による相談をメインにお肌チェックや体脂肪測定、健康促進冊子の配布などを行いました。

また、新たな取り組みとして「十文字デー」(十文字生だから10のつく日はちょっとお得)を開始しました。毎回10・20・30の日は特売日として、さまざまなフェアを開催していきます。